

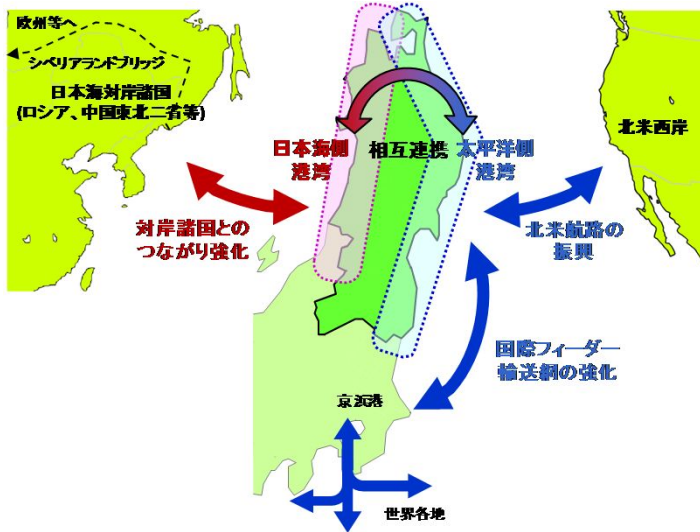
東北港湾ビジョン 行動する東北！ 東北港湾 A C T 構想

【策定主体：東北港湾ビジョン検討委員会】(東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

Active Connective Twin axis

基本コンセプト

1. 太平洋側・日本海側の2軸(Twin axis)を活性化(Active)!
2. 2軸間及び各軸と対岸諸国等とのつながり・連携(Connective)の強化!
3. 行動(Act)する東北!



Active : 活性化!

Connective : つながり・連携の強化!

Twin axis : 太平洋側・日本海側の2軸をフル活用!

【東北港湾ビジョン検討委員会事務局】

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部

TEL: 022-716-0006 FAX: 022-716-0017

ホームページ: <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/>

東北港湾の特徴 取り巻く情勢・課題

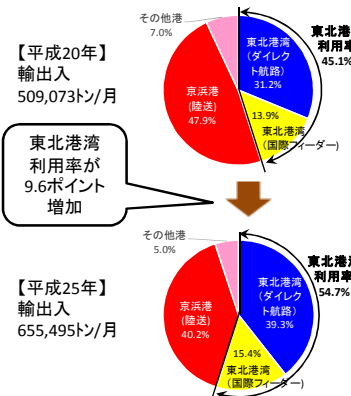
- ・震災からの取扱貨物量の回復
- ・高まる東北港湾の需要
- ・厳しい自然条件
- ・企業立地の増加
- ・震災による被災と港湾BCP策定の動き
- ・港湾施設の老朽化の進行
- ・豊かな観光資源とクルーズ振興の進展
- ・海域環境の再生
- ・今後急速に進む人口減少
- ・ユーラシアダイナミズム
- ・エネルギーや資源の獲得競争
- ・企業の競争力低下 等々

東北港湾の使命

1. 円滑な物流の確保により地域の経済と雇用を支える
2. 防災力の強化により暮らしと社会の安全・安心を支える
3. 豊かな環境を活かした港の賑わいにより活力ある地域づくりを支える

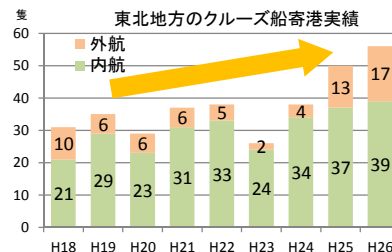
高まる東北港湾の需要

・航路が増え、利便性が向上し、東北港湾の需要が高まっている。



豊かな観光資源とクルーズ振興

・東北地方は豊かな観光資源を多数有し、特に外航の大型クルーズ船の寄港実績が年々増加傾向にある。



東北港湾の3つの目標と戦略

【目標1】(物流・産業)

東北経済を再興・牽引する物流・産業拠点の形成

太平洋側と日本海側の2軸をフルに活用し、各港の拠点としての強みを十分に活かすことで、地域の経済を牽引する信頼性の高い拠点を形成し、力強い東北の創造を実現する。

戦略1-1 地域の強みや個性を活かした物流効率化と連携強化

戦略1-2 産業の振興と企業誘致の促進



【目標2】(防災・減災)

安全・安心な港湾の実現

人々の暮らしや企業活動の安全と安心を支えるため、ハード・ソフト両面からの取組みを推進し、日常から災害時まで、常に適切に機能できる強靱な港湾を実現する。

戦略2-1 命と暮らしを守る港湾の強靱化

戦略2-2 適切な港湾機能確保のための施設の維持管理



【目標3】(観光・環境)

港湾空間の有効活用による賑わい創出や豊かな環境の形成

東北の観光ポテンシャルを十分に活かし、多くの人々が行き交う元気の東北を実現するため、みなとオアシス等を活かした海辺の賑わい空間の形成や地域と連携したクルーズ振興、豊かな自然環境の保全・再生等、玄関口である“みなと”の活性化に向けた取組みを推進する。

戦略3-1 港湾空間における賑わいの創出

戦略3-2 港湾における良好な地球環境への貢献

